

## インターツム 2011－国際家具産業・木工加工見本市

会期：2011年5月25日(水)～5月28日(土)

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

### －ファイナル・レポート－

#### インターツム 2011 国際家具産業・木材加工専門見本市

##### 革新的な製品群がケルン会場を彩る

- 147 カ国から約 53,000 人が来場
- 出展は 61 カ国から 1,434 社
- 展示面積 8%増
- 海外からの来場が 24%アップ

「素晴らしかった。過去最高のインターツムです」。これが、インターツム終了後の出展者の一致した意見でした。家具業界サプライヤーの国際見本市として世界をリードするインターツム 2011 には 147 カ国から 52,400 人が来場し、前回 2009 年と比較して 13%も来場者数が増えました。また、従来から高かった海外からのビジター数はさらに 24%アップしました。「本当に感激しています。この数日間に会場で起こったことが、ただ信じられません。4 日間に渡って出展者は会場内に大花火を打ち上げました。努力が報われたことを業界が自ら祝福したのです」。こう総括するのは、インターツムのプロダクトマネジャーで、ケルン国際家具見本市のディレクターでもあるフランク・ハウボルト氏です。「インターツムによって、ケルンメッセは家具業界を照らす灯台としての役割を改めて強調しました。各分野を代表する 3 つの見本市を、これほど濃い内容で短期間のうちに次々と開催し、その全てを成功させられる見本市会場がほかにあるとは思えません。これにより、私たちは希望に満ちた将来に向けて実績を重ねているのです」とケルンメッセのゲラルド・ベーゼ社長は満足した様子で語りました。

今年のインターツムは、世界中から家具業界サプライヤーの関係者が集う場となりました。会場の雰囲気は上々で、出展者は新しいコンタクトを獲得し、ビジネスを加速することができました。一方、来場者にとっては、業界の最新動向を総合的に把握する機会でした。すべての分野でレベルの高い新製品が展示されました。

#### 出展者数、来場者数ともプラスに

今回のインターツムには、世界各国から1,434社が出展しました。このうち378社がドイツか

ら、1,056社が海外からの出展でした。海外勢ではイタリアが最多で276社、トルコがこれに続く88社でした。前回のインターツムと比較して、出展者総数は6%増となっています（2009年出展者数は1,356社）。総展示面積は8%増となり、前回より1ホール多い10ホールで展示が行われました。従来同様、今回も来場者における購買意思決定者の比率が高く、出展者はこれを好意的に評価していました。「当社にとって非常に実り多い見本市でした。前回より来場者数がずっと多く、そのレベルも高かったことに満足しています。第一級のインターツムだったと思います」と話すのは、Hettich社取締役のヴォルフガング・シュタイプ氏です。

来場者数は52,400人で（2009年は46,345人）、このうち17,900人がドイツから、34,500人がその他147カ国からの参加でした。外国人比率は来場者数の約66%にあたります。海外からの来場は前回比24%増で、前回のインターツムよりさらに国際性が増しました。出展者は来場者の多さとレベルの高さに大満足でしたが、来場者側も出展内容の充実ぶりに魅了されていました。「驚異的なインターツムでした！雰囲気は最高で、洗練されており、魅力に溢れる個性的な展示が製品開発に役立つ斬新なアイデアを提供してくれました」と、海外から参加したバイヤーの1人は話しています。

### 充実の併設プログラム

今年は併設プログラムもこれまで以上に豊富で、来場者に好評でした。特に、第2回目となった“インテリアのイノベーション”が大成功でした。これはインテリアデザイナー、建築家、家具職人、デザイナー、製品開発者らが一堂に会してのフォーラムです。ケルンメッセはまた、ハートムート・A・ライザー教授、アントニウス・クォート氏とともに、素材、表面加工、照明をテーマとする画期的な特別展も企画しました。このほか多数の講演、VDIDの新人賞授賞式、ガイドツアー、テーマ別の日替わりイベントなどが「キューブス」と題された会場で催され、場内に活気を添えていました。この会場ではメーカー各社のハイライト製品も展示されました。「“インテリアのイノベーション”のコンセプトは成功したと思います。ここに来場した建築家やその他のターゲットグループに当社の新技術を紹介することができ、うれしく感じています。さらに、ホール4.2で当社製品に初めて接した方の多くが、続いてホール7の当社ブースを訪れ、さらに製品に触れていただくことができました」と総括するのは、Blum社のマーケティング・コミュニケーション担当のユリア・ゾーラー氏です。

### 未来志向のイノベーションに「インターツム賞」

今年5回目を迎えた「インターツム賞：素材イノベーションとデザイン」は、ケルンメッセとレッド・ドットの協賛で行われ、業界で最も先進的なデザインに授与されました。著名メンバーで構成された審査員団は43の製品に賞を与え、受賞作はメッセ会期中、会場内大通りの特別会

場に展示されました。

インターツム2011の最新フォト、見本市詳細、『ヒットガイド2011』、ハイライト展示一覧、今回のイノベーションとトレンドなどの情報は、以下サイトからダウンロードできます

<http://www.interzum.com/press/>

**次回のインターツム2013は、2013年5月13日～16日に開催されます。**

ケルンメッセではインターツムと並び、imm cologne (ケルン国際家具見本市) / LivingKitchen、ORGATEC (オフィス家具見本市)、spoga+gafa (国際スポーツ専門見本市)、Kind +Jugend (国際ベビー・ヤング用品見本市)を開催、インテリアデザイン見本市の会場としてナンバーワンです。

### **インターツム2011：業界の声**

フーベルト・シュヴァルツ氏 Blum 社長

「来場者が引きもきらず、しかも海外からのビジターが今後も増えそうな手応えがあり、インターツムが業界随一の見本市であることをあらためて認識しました。インターツムはイノベーションを提示し、市場テストを行い、各企業の力量を表現するためのプラットフォームです。見本市の成功は、世界中から集まった出展者、来場者、メディアにとってインターツムが非常に重要な存在であることの証左です。ケルンメッセと業界とが素晴らしい成果を達成したのです」

トビアス・ローレンツ氏 Süddekor マーケティングチーム・リーダー

「非常に満足です。来場者からは予想以上にポジティブな反応があり、国際色豊かで、商談内容も充実していました。会場は良いムードにあふれていました。ケルンへの出展は当社にとって正解だったと思っています」

クラウス・ザーゲル氏 VAUTH-SAGEL Holding 社長

「驚異的でした。これまでで最高のインターツムです。当社ブースに世界中の購買意志決定者をお迎えすることができました。インターツム2011は今後の事業発展を示唆する明確なサインです」

トニー・ガレット氏 Leggett &Platt Global System Group / Machinery プレジデント

「来場者が質量ともにレベルアップしました。世界中の方々が時間の都合をつけてケルンに集まり、当社製品を見たいと思ったのです。これは当社のマーケティング活動が実を結んだだけでなく、景気が回復してきている証拠です。非常に満足です」

ウルリッヒ・ビューラー氏 Egger Holzwerkstoffe 営業マーケティング部長

「当社が今回18年ぶりにインターツムに出展したことは、まさに正しい決断でした。当社にとって重要な市場の関係者が、製品とサービス情報を得るため当社ブースを訪れました。新しいコンタクトが生まれ、メッセの国際的な雰囲気も楽しむことができました。当社の出展が多少なりともインターツムの成功に貢献したことを願っています」

ドナルド・シェーファー氏 Rasopal 社長

「期待した以上の成果がありました。ブース来場者の反応は従来よりずっと好意的で、海外ビジターの比率が高かったほか、来場者が建築家、木材商社、家具業界の代表でバランスよく構成されていました。会場の雰囲気も非常によく、来場者が情報入手に熱心でした。インターツムがいかにしてビジターをひき付けるかをケルンメッセは理解しています。充実した併設プログラムも見本市成功に寄与しました」

ミヒャエル・リントナー氏 GERA Leuchten 営業担当

「とても満足しています。見本市は当社にとって成功でした。会期前から関係者が当社新製品に興味津々であったことも手伝って、ブースは盛況でした。新規顧客になりそうな建築家やインテリアデザイナーとのコンタクトを多く得られたことも、大きな喜びです。『光が輪郭を生む』という、当社の今年のモットーが共感を得ました」

ペーター・シャル氏 Hera マーケティング営業部長

「2年前の前回よりずっと通路が混み合い、新たなコンタクトがたくさん生まれました。来場者もレベルが高く、国際色豊かだったと思います。ホール4.2での新しいコンセプトも充実していました。全体として素晴らしい見本市でした」

アンドレアス・アルビツヒ氏 Rehau 家具事業部長

「インターツム2011は当社にとって全面的に成功でした。当社の重要顧客が世界各国から訪れただけでなく、新規顧客となりうる来場者も海外からお迎えすることができました。インテリアの様々な分野を提示した当社ブースのデザインも高い評価を得ました。特に製品デザイナーに向けて、新しいアイデアを提供し、いかに当社製品を家具デザインに利用することが可能か、示唆できたと思います」

インターツムに関するお問い合わせ先

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番 2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル 7F

Tel : 03-5418-6245 / Fax : 03-5418-6246

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp